

2022 年度 卒業論文題目一覧

◎：優秀論文

●哲学歴史学科

哲学コース

- 吉長 公康
オンライン対戦 FPS における「チート」
使用はどうして不正なのか
- 安藤 さくら
戦争における道徳について——正戦論と
兵士の道徳的責任
- 上熊須 理央
永久主義から宿命論は帰結するのか
- 仙田 彩歌
何故「末人」は最も軽蔑されなければな
らないか
- 竹田 航遥
無宗教と言う日本人は宗教とかかわりを
持たないか
- 手嶋 春奈
自己啓発セミナーで回心を達成すること
はできるか
- 松浦 康葉
ギリシア神話と日本神話から見るジェン
ダーと死生観
- 保田 陽香
「食べる」とは何かを考える——カニバリ
ズムの事例から
- ◎山本 七生
私と世界の退屈な関係——われわれは退
屈にいかにして対処しうるか
- 今村 光臣
レヴィナスの『全体性と無限』における「平
和」論——及びデリダの「暴力と形而上学」
における批判の検討
- 朝長 輝
「悦ばしき知識」における「神の死」とそ
の後の展望

日本史学コース

- 廣岡 佑紀
一九三〇年代における大阪市の派出婦及
び派出婦会について
- ◎井上 香
近世後期大坂における下層民衆のあり方
——御池通六丁目の家出一件史料を中心
に
- 岩崎 萌見
戦国時代京都における頼母子・合力の研
究
- 岡本 侑樹
摂津・丹波における三好氏の在地支配—
—相論・裁許を手がかりに
- 下村 優
六・七世紀の皇位継承と厩戸皇子
- 藤森 絢楽
町触から見る近世京都の遊所統制
- 松井 優
大坂本願寺と織田信長の戦いの検討——
軍事面を中心に

世界史コース

- 小林 巧
第二次世界大戦時におけるドイツ国防軍
将校の国防軍像——捕虜盗聴記録の分析
- 角 和樹
タンズィマート期のボスニアと 1875 年の
ボスニアヘルツェゴビナ蜂起：アーサー・
エヴァンスの記述を中心に
- 仲川 爽空
ヴィオレ・ル・デュクによる建築修復の
再評価：現代の建築修復に関する国際規範
への活用を期して
- 平田 奈於
19 世紀後半のロシアを生きたヴェレシ
チャーギンの絵画とその信念の変化
- 御園 祥平
ルネ・マグリット——作品とタイトルの
関係性

◎高倉 英媛

- 第一次世界大戦前後のイギリスにおける
女性像の変化とその分析——ヴェラ・ブ
リテンとヘレン・ゼナ・スミスの著作に
描かれる従軍看護婦と救急車運転手の分
析を中心に

●人間行動学科

社会学コース

- 城野 麗奈
三世代同居家族の権力関係——各世代へ
のインタビューから権力の作用を記述す
る
- 青木 愛実
有配偶女性はなぜパートで働くのか——
エージェンシー概念を通してみる「自発
的」選択の再検討
- 岡崎 桂
女性同性愛漫画の現在——「百合」と「女
性愛」の分析から
- 岡田 悠里
若者の介護志向はどのようにしてつくら
れるのか——中西（2009）の再検討を中
心に
- 沖村 真衣
親の社会経済的地位や養育行動が子ども
の自立的学習意欲に及ぼす影響
- 呉本 智華
テレビ CM における「外国人」登場人物
像とその変化
- 黒田 望加
同性愛差別はいかにして隠されてきたか
——「寛容」という視点からの考察
- 高山 愛
震災時における地方公共団体の外国人被
災者に対する情報発信の未達問題とその
原因——過去の震災の事例から
- 竹西 あかね
企業の制度が従業員のワーク・ライフ・
バランス満足度に与える影響と前提とな
る労働条件

田中 美月

- 男性向け化粧品広告からみる男性化粧の
位置づけと表象される男性像
- 田中 結
多次元的貧困と生活満足度の関連——多
次元的貧困の要因という観点を交えて
- 大宮 玲
BL と「地雷」——Twitter での BL 愛好者
の語りから
- 津幡 百音
単身高齢女性特有の社会的孤立のリスク
- 寺町 真琴
娘たちはなぜ母親と『友だち親子』でい
るのか——女子大学生による語りから
- 土居 菜七実
「オタ活」にみるオタク女性の活動とアイ
デンティティのあり方

◎濱田 樹

- 文化資本の伝達過程と階層帰属意識への
影響
- 福岡 千友里
ファッションと模倣——WEAR を使用す
る大学生に着目して
- 福原 咲紀
行政のヤングケアラー支援のあり方を考
える——条例と自治体の取り組みに着目
して
- 高 逸清
就業が高齢者の生活満足度に及ぼす影
響——現在の就業形態と最長就業形態に
着目して
- 林岸 諒
日本における外国人介護労働者を巡る現
状と課題

心理学コース

- 岡本 陸哉
ハトにおける逆たかり効果
- 井筒 莉寛
自民族に対する自尊心と韓国人に対する
偏見的態度の関係性についての検討

井上 美紅里
大学生の化粧行動の目的と自意識の関連

上間 由博
ヒトのリスク選択——賭け行動と賭け金の変動性の効果

日野 杏紗
大学生の学習動機づけにおける人物称賛と過程称賛の影響——場面想定法による検討

小笠 楓
笑顔の絵文字が印象評定と信頼行動に及ぼす影響

奥田 陸央
自伝的記憶の意図的想起における感情価別記憶特性——気分変化と記憶の詳細に注目して

金親 由樹
先制攻撃ゲームにおける意思決定過程の検討——アイトラッカーを用いた分析

川畑 桜
モノに対する愛着の保有効果への影響

末続 萌
新生仔期 MK-801 投与ラットの遅延非見本合わせ反応に及ぼす体重レベルの効果

田中 杏太朗
友人との親密度と関係の取り方が冗談行動に及ぼす影響

堂前 陸
死に対する態度と損失回避意識の関連について

西角 隆之介
新生仔期 MK-801 反復投与ラットに対する慢性軽度ストレスの効果

林 優希
潜在的・顕在的自尊感情と自己愛、また自己開示との関連

原 あき
性的マイノリティの割合に関する研究

水野 雪乃
ネガティブ・フィードバックの課題正答率と感情への影響

溝上 澄珠
情動面、認知面における他者指向性 - 自己指向性が自己注目の情動的背景に及ぼす影響とその他要因の研究

◎光枝 柚香
損失が伴う囚人のジレンマゲームでも人々は協力するのか？——相互協力を促進する「社会的交換ヒューリスティックス」の働きとその分析

実森 荘太
日本語における「戦い」メタファーの比喩フレーミング効果についての検討

新宮原 明日香
日本の大学生におけるメリトクラシー・バイアス

李 晨
大学生の文化的自己観と主観的幸福感の関連についての検討

◎教育学コース

浅井 優一
運動部活動における先輩後輩関係の捉え方に関する考察 ——その肯定的側面に着目して

石川 莉那
貧困家庭の子どもの居場所としてのプレーパークの機能

出原 拓
学校におけるマンガの「捉え方」と活用 of 乖離に関する一考察

橘 萌花
学校民主主義の実践のための生徒参加の校則の見直しについて——生徒の〈自分たちごと〉意識の醸成に着目して

◎谷口 太一
初任教師の授業計画段階における教師用指導書の役割に関する一考察 ——「特別の教科 道徳」における自我関与概念に着目して

星山 梨絵
ユーモアの笑いについての一考察——「笑われる者」を救う笑いとしてのユーモア

森本 歩
人間関係とともに変化するいじめ——1980年代から現在までを通史的に捉えて

◎地理学コース

松本 明凜
廃墟探訪と廃墟ツーリズムの可能性——旧摩耶観光ホテルの事例から

芳田 翠子
無居住神社における神職・氏子の役割と氏子認識——奈良市内の 3 神社を事例に

乾 綾友子
学校外に立地する学童保育所の継続可能性——大阪市を事例に——

岡崎 史穂
部活動の地域移行に関わる地域性——静岡県掛川市の地域部活動を事例に

尾崎 佳乃
農産物ブランディングと 6 次産業——河内地域の「大阪ぶどう」ブランド展開

川口 瑛美莉
「天王寺」はどこを示すのか？——手描き地図から見る「天王寺」の認知

城 一登
日本における昆虫食養殖の現状と課題——食用コオロギ養殖事業を事例として

◎中崎 人輝
神戸市における交錯する鉄道網とその成立要因

千川 はるか
新華僑によるビジネスの実態と集積要因——大阪市中央区南部の中国系店舗を事例として

中島 世南
持続可能な発展をもたらす観光と地域性の関係——岩手県遠野市 ビールの里プロジェクトを事例として

西田 歩莉
創作作品における遊郭表象——『鬼滅の刃』と『この世界の片隅に』との比較から

野田 剛志
大都市圏外縁部の地方創生——北関東の地方自治体における有料列車支援を事例に

増田 一輝
宇都宮市の LRT 導入計画はなぜ実現したのか——事業広域化と都市ビジョンの検討から

山野井 愛友
富田林寺内町の持続可能なまちづくりと女性の役割

●言語文化学科

◎国語国文学コース

植野 聡太
カジュアルな書き言葉、その射程について——バカリズム『架空 O L 日記』を中心に

左近 充
鬼女の生成——羅刹女との関係を中心に

藤澤 祐花
関寺牛仏譚と藤原実資

石原 奈津美
『銀河鉄道の夜』のモチーフの持つ意味——牛乳・天の川、時計、口笛を中心に

泉 和佳奈
『和泉式部日記』における「月」の描写について

今崎 文音
『とりかへばや物語』における父左大臣の役割

加藤 怜美
歌人中務における母伊勢の影響について

川野 綸
浄瑠璃『曾我会稽山』の劇中時間設定の意義——近松の他の曾我物と比較して

北川 凜
ル動詞の成立過程と意味分類について

木下 愛美
『ヴィヨンの妻』——語りから見る大谷像

小林 遼太郎
『夢中間答集』における譬喩表現の特徴と機能——不立文字・問答構造との関係において
駒走 有紀
『とはずがたり』東下り記事にみる二条の意図
志水 克考
田中裕明第五句集『夜の客人』における句頭韻の効果
杉本 彩
『西鶴諸国ばなし』の特徴と創作的意図——巻三の四「紫女」を中心に
◎瀬川 知弘
織田作之助「木の都」における架空性
田中 輝
御伽草子『玉水物語』における「あいをます箱」
時田 萌香
古今和歌集における散る桜の表現の特徴——春雨と雪と風を中心に
中田 春日
オノマトペの新しい意味はどのように発生するか——「きゆるきゆる」を例に
西岡 佳希
『通町御江戸鼻筋』における唐来参和の創作手法
松岡 真梨子
有川ひろの描く高知像について
八木 奏衣
『銀河鉄道の夜』派生作品の表現——焦点化を視座として
吉田 朝美
『人間失格』と現代社会——派生作品を比較して
和田 蓮矢
『源氏物語』における扇の役割について

中国語中国文学コース
◎井上 碧乃
日本書紀仮名から推測される古代における日本語と中国語の音韻関係

英語英米文学コース
下村 佳々莉
A Comparison of Japanese Horror Movies and American Horror Movies.
◎稲田 望
『マンスフィールド・パーク』論——ファニーの居場所探しの旅にみる内なる強さ
大岡 美由紗
Drag Queens' Potential to Make a Difference in the United States
河村 優芽
A Comparison of High School Students' Eagerness for Studying Between Japan and the U.S
木内 晴臣
英雄の旅の観点から考える On the Road の主人公
杉本 有希
ディズニープリンセスの変化とディズニーファンダム——「政治的正しさ」の理想とファンの理想にズレが生じる原因について
中 優芽
未来への期待と没落——The Great Gatsby と The Last Tycoon を通して
中村 さやか
A Comparison of Japanese and American Comedy
中山 洵
The Modern Woman of Sex and the City
原条 佳乃
『ヴィレット』におけるルーシーの秘められた性的欲求
本間 結女
英文学を通して養われるコミュニケーション能力の考察——『ロミオとジュリエット』を事例として
松原 穂乃花
フランコ・ゼフィレリ『ハムレット』(1990) におけるハムレット表象と作品評価の考察

山下 真奈
『熱帯雨林の彼方へ』——国境を越えた愛と saudades の心
山田 莉央
子供に関する日英ことわざ比較
渡部 真妃
Tinker, Tailor, Soldier, Spy and English Culture
立林 舞
スコットランドにおける境界の地名学——cil と kirk について
眞弓 喬蒔
従属接続詞 that の省略と今後の文法化

ドイツ語フランス語圏言語文化コース
ドイツ語圏文化領域
奥村 早紀
生殖をめぐる女性の自己決定権の意義とこれから——ドイツ社会の事例をもとに
田中 ひより
ヘルマン・ヘッセの描く「友情」の形——初期作品から『ナルチスとゴルトムント』に至るまで
◎常森 卓郎
トーマス・マンと言語の虚偽性——初期作品を手掛かりに
牧田 更
ユーゲントシュティールとは何だったのか——ミュンヘンの世紀末雑誌『Die Jugend』を手がかりに
三宅 広太
ゲーテ『ファウスト』におけるメフィストフェレスの道化性について

フランス語圏文化領域
田中 美優
『パリ・オペラ座の多様性に関する報告書』についての考察——『くるみ割り人形』の再考を通して
赤土 陽菜
日本のモダンパレエ観——日仏米における M. ベジャール『ボレロ』批評比較を通して

松岡 奈津子
宝塚歌劇のフランス・イメージとロベスピエールの表象について——宝塚歌劇団雪組公演『ひかりふる路』を中心に
森本 貴仁
「ミュージカル『レ・ミゼラブル』の成立過程と日本における受容の要因」
山根 千佳
なぜフランスの学生はmanifestation をするのか——五月危機と、それ以降の公民教育とのつながりを手がかりに
畠中 砂貴子
ルワンダジェノサイドから見るフランスおよび国際社会

言語応用コース
小野 愛
ヨセフ物語の絵本での描かれ方の比較——配慮と捉え方への影響

●**文化構想学科**
表現文化コース
神戸 亜都佐
「高校演劇」における愛知県の独自性と先進性
◎小山 茉衣
K-POP の韓国語歌詞と日本語訳詞の音楽的齟齬について——日本語訳詞の「ノリの悪さ」をめぐる音韻論的研究
李 實羅
キア映画『ユンヒヘ』——レズビアン表象を通じた家父長制からの独立
金 昭延
脳内の擬人化表現に関する考察——『脳内ポイズンベリー』と『ユミの細胞たち』を中心に
板倉 みなみ
文化のグローバル化としての『アナと雪の女王』——日本・中国・フランスにおけるローカルな受容の比較

江藤 莉里花
身体パフォーマンスにおける「生アフレコ」の意義——声優の「身体」と「声」に注目して

大野 恭敬
オンライン演劇の理論と実践についての考察

木村 紗耶乃
ライブ配信視聴者の能動的参加余地——ラジオ・テレビとの比較、配信事例を通して

高橋 七瑛
少女漫画における男装の効果と越境ヒロインの存在意義

竹田 和奏
遊び論からみる「謎解き」の特性——「謎解き」と「クイズ」を比較して

寺本 海
フィクションとノンフィクションにおける東京ディズニーリゾートの表象

山本 真帆
『Undertale』がプレイヤーにもたらすゲーム体験——メタフィクションの効用と可能性について

吉田 叶意
鏡としてのジョーカー——アメリカンコミックス映画におけるヴィラン像の違いについて

林 菜亜耶
ヒップホップダンスと「現代的なリズムのダンス」の相違

アジア文化コース

大石 夏未
日本化した中国料理の受容について

木下 千裕
韓国の競争社会と打開策としての韓国エッセイ『あやうく一生懸命生きるところだった』

◎中川 真帆
日本におけるポスト『82年生まれ、キム・ジョン』小説作品の展開

濱田 結珠貴
馬へのかかわりについての比較文化的考察——モンゴルと日本を事例として

山本 苑乃
タイに学ぶ観光振興

吉岡 玲奈
野田サトル『ゴールデンカムイ』によって広まるアイヌ文化

柴田 昌哉
部活を通して見える日本社会の特色の考察

文化資源学コース

井上 ひかる
北野恒富研究——グラフィックデザインを中心に

加賀美 愛
観光メディアが呈示する京都イメージと京都旅のあり方に関する考察——JR東海「そうだ 京都、行こう。」を事例として

加柴 綾香
食の活用による持続可能な観光まちづくりの可能性と課題——滋賀県大津市の取り組みを事例に

加藤 熙紘
ソーシャル・キャピタルの源泉としての仏教寺院の文化活動、その手法と問題点

後藤 真采
〈元祖上方漫才〉と〈現代上方漫才〉における「上方漫才らしさ」の継承と変容——『M-1 グランプリ』の漫才を事例として

里中 優斗
「青春 18 きっぷ」のメディア文化論——ポスターとガイドブックに見る青春 18 きっぷの旅の今日的価値づけに関する考察

西 夏妃
岸和田市におけるシネマ・ツーリズムの現状とその可能性——「G.I. ジョー：漆黒のスネークアイズ」をきっかけとして

濱口 鈴乃
ゲーム保存における RTA の特徴とその可能性——RTA を取り巻く鑑賞文化に注目して

◎三木 恵理佳
資生堂の広告・ポスターにおける西洋のグラフィックデザインの影響に関する研究——1916～1935 年のイラストレーション

領木 りこ
ゲーム機能を使用した自主学習における効果音の活用

石手洗 椿
大阪のガラス建築 その機能性とランドマーク性についての考察